

兵庫医科大学病院 チーム医療の二員として



■はじめに

兵庫医科大学病院では医師をはじめ、看護師、薬剤師、理学療法士、事務職員など様々な職種が「チーム医療」とも活躍しています。「チーム医療」は、患者さんやその家族を中心に、各医療専門職者が一体となり、それぞれの専門性を発揮して相互に連携・協力しながら患者さんに最善の治療・ケアを行うことをいいます。

今回はチームの一員である、クラーク、メディカルアシスタント(MA)、ボランティアの仕事についてご紹介いたします。

■クラーク

病棟クラークの業務

当院には看護部の所属として24名のクラークと呼ばれる病棟事務職員がおり、各病棟に配置されています。

クラークは、厚生労働省の方針で看護補助者の一員としてチーム医療に参



看護師、事務を交えた打ち合わせ



クラーク研修

加しています。主な業務として、事務処理や看護補助業務、病棟受付対応や電話対応を行っています。診療や看護業務の円滑化による医師や看護師の業務負担軽減と病院のサービス向上を図るためです。

クラークは、治療や検査で入院される患者さんが病棟で一番先に出会う職員であるため、医師や看護師がベッドサイドに伺うまでのクラークの対応が療養生活の心地良さを左右すると言っても過言ではありません。医師や看護師、メディカルスタッフは、病院の医療の質を高める役割を持っていますが、クラークは、そのサービスが円滑に機能するように患者さんやご家族と繋ぐサービスを担っているのです。

看護部では、どの病棟に入院しても同じように質の高いサービスが受けられるよう、年に6回のクラーク研修を行い、患者さんやご家族のニーズに沿えるよう力を注いでいます。次に、平成24年3月に開棟した12階特別病棟のクラークが日常業務とその心がけについて紹介します。



12階特別病棟 クラーク 宮城 綾子

病棟のコンシェルジュとして

病棟クラークは、病棟の窓口と言っても過言でなく、入院から退院まで一貫して手続き等をさせて頂いています。また、書類の整理や物品の管理等看護師の仕事をサポートすることによって、患者さんと看護師が寄り添える時間が多く取れるようになります。

入院の際は、病棟で最初にお迎えして、病棟の案内をします。次に身長・体重測定をし、緊急連絡先など基礎情報をお伺いし、カルテに入力します。その際は、個人情報保護と話しやすい雰囲気作りに留意します。常に患者さんを始め、病棟に来られた方々に笑顔で温かい対応を心掛け、少しでも快適な入院生活が送れるように務めています。

退院される際に「入院することがあれば、またこの病棟がいい」と言っていただけのことや何よりの喜びであり、医療チームの一員として、もっと多くの方にそう思っていただけのように努めたいと思っています。

このように当院では、特別病棟を始めとしたクラーク達が、サービスやマナーに真心を加えた「ホスピタリティ」が提供できるよう病棟のコンシェルジュとして活躍しています。



■メディカルアシスタント

メディカルアシスタントとは

皆さんは、医師が行う仕事というところなことをあげられますか。外来や病棟で患者さんを診るのはもちろんのことですが、実はそれ以外に診断書、意見書、入院・退院記録等の作成、症例登録など、日々

たくさん事務作業に追われているのが現状です。そこで医師の負担を軽減し、本来の仕事に専念できる時間を確保できるように、医師が行う事務的な業務をサポートする『医師事務作業補助者』が平成20年度の診療報酬改定時より導入されました。

当院では、『医師事務作業補助者』をメディカルアシスタント(通称:MA)という職名とし、平成23年10

月に8名で各診療科への配置を開始し、以降徐々に人数を増やし、現在では25名となりました。

メディカルアシスタントになるためには

この『医師事務作業補助者』になるために必要な免許や経験などは特にありませんが、実際に診療科へ配置する際には、配置してから6カ月以内は研修期間とし、その期間内に32時間以上の研修の実施が必須とされています。研修内容は、①医療法、健康保険法等関連法規の概要、②個人情報保護の提供に関する事項、③医療機関で提供される一般的な医療内容および各配置部門における医療内容や用語等、④診療録等の記載・管理及び代筆、代行入力、⑤電子カルテシステムなど多岐にわたります。

時代の変化とともに

医療を受ける患者さんの基本的な考え方は時代とともに変化し、「自分は難しいことはわからない



電子カルテの代行入力の風景

ので、先生に全てお任せします。」というような受身型から、医師から病名、検査データ、治療法、費用、治療期間などさまざまな説明を受けた上で、患者さん自身がどの治療を受けるかを選択するという時代になってきています。その説明を行うための準備にはかなりの時間を要することとなるため、その時にメディカルアシスタントの存在が必要不可欠なものとなります。



メディカルアシスタントによる検査方法の説明

メディカルアシスタントという立場では、急速に進化する医療・医学についていくのは困難極まりないことではありますが、その専門的な分野を深く学べる環境であり、常に勉強しようという気持ちになれるのもやりがいのある仕事です。その努力の結果、医師から「助かったよ。ありがとう。」と言われることが何よりの励みであり、患者さんへのよりよい医療の提供に寄与できたかと思っています。

■ボランティア

当院では地域に開かれた病院の実現を目指して「病院ボランティア」を募集しています。

病院ボランティアに関心があり、優しさや何事にも前向きに取り組む姿勢のある方で学生以外の方であれば誰にでもご参加していただけます。

主な活動内容・活動日は次のとおりです。

初診手続きの補助

【毎週月～金曜日 9:00～11:00】
初めて来院された外来患者さんへ、受付の補助をしていただきます。再診の方の各科外来受付窓口への案内をしています。

総合案内補助

【毎週月～金曜日 9:00～11:00】
来院された患者さんへの補助(車椅子移動の介助、エスコート等)をしていただきます。

リネン交換

【第1・3・5水曜日 9:00～11:00】
10号館8・9階病棟のリネン(シート)交換をしていただきます。

材料作成

【第1・2・4火曜日、第3水曜日 9:00～11:00】
外来診療で使用する材料(歯科衛生材料・ガーゼたたみ等)を作成していただきます。



リネン交換



材料作成

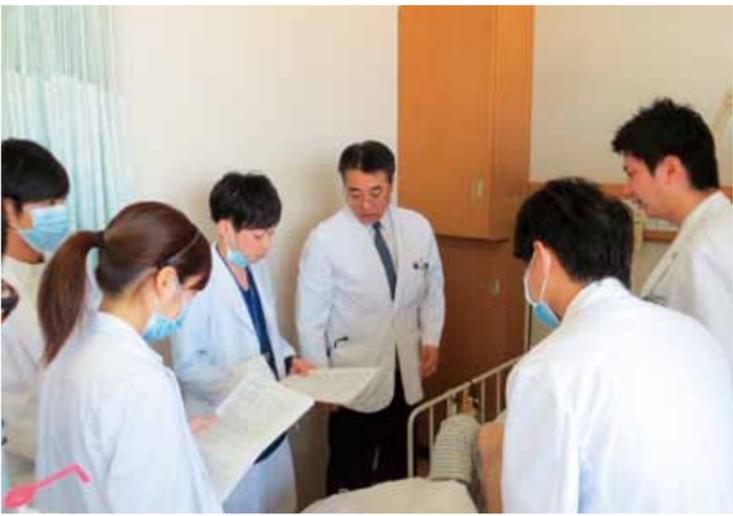
消化管内科



消化管内科 主任教授 三輪洋人

消化管内科では内視鏡センターも兼任する三輪主任教授を中心に食道や胃、小腸、大腸などの消化管疾患全般の病気を対象とした治療を行っており、特に癌の治療と機能性消化管疾患の診療に力を入れています。

近年診断技術の進歩により、早期の食道癌や胃癌、大腸癌が見つかることが多くなりましたが、内視鏡技術の進歩によりこれらの癌の多くが内視鏡治療により完全に



回診風景



消化管内科 スタッフ

治療させることができるようになりました。当院でも最新の内視鏡機器を用いて内視鏡治療に当たっており、われわれは近隣の施設において内視鏡治療が困難と判断された症例も含め、積極的に治療に取り組んでいます。2013年は約200例の早期胃癌、食道表在癌、約100例の早期大腸癌に対する内視鏡治療を行っており、そのほとんどが根治的治療となっています。このように高い技術レベルに基づいて侵襲の少ない内視鏡治療を行い、患者の予後やQOLに貢献しております。

また外科的治療が困難な進行食道、胃癌患者に対しては化学療法（抗癌剤治療）を行っています。定期的な内科・外科・病理医とで合同カンファレンスを行い、患者個々の症例に応じて治療方針を決定し、

3科で緊密な連携を取りながら診療にあたっていることが特徴です。また当科ではこれまで入院で行われていた癌の化学療法を、院内の外来化学療法室を利用して、出来る限り外来通院で治療を行っています。治療ガイドラインを熟知した専門医、指導医がエビデンスに基づいて化学療法を行い、様々な国内外の臨床試験や先進医療にも参加しています。また患者さんの住まいや背景を考慮して、地域の関連施設と連携をとりながら診療を行っています。進行癌患者は癌による痛みを伴うことも少なくありませんが、当院の緩和チームとも積極的に連携をとりながらより苦痛なく治療を受けていただくことも心掛けています。

機能性ディスペプシア(FUNCTIONAL dyspepsia:FD)や過敏性腸症候群(irritable bowel syndrome:IBS)などの機能性消化管障害の診療に対しても積極的に取り組み、最新の内圧検査(high resolution manometry)やシンチグラフィ検査、内臓知覚検査などを用いて病態解明を行い、

新しい治療法の開発に取り組んでいます。食道アカラシアに關しても関西圏を代表する施設の一つとして多くの患者さんを受け入れています。最近では、小腸内視鏡やカプセル内視鏡などを用いて小腸疾患に対する診断・治療も積極的に行っています。

ドイツ看護学生の実習活動

当院看護部では、平成26年1月6日〜31日の4週間に亘り、海外から看護学生の実習を受け入れました。ドイツの看護学校に通う中国人の女性 Jingsi さんです。ドイツでは優秀学生に4週間の海外研修を推奨しているとのこと、はるばる海を越え大陸を越え、日本まで実習に来られました。



ベッドを運ぶ様子

実習はICU、心臓血管外科、婦人科・乳腺外科、整形外科の各病棟をはじめ、手術センター、血液浄化センターで行いました。Jingsiさんは、看護師が



ドイツ看護学生と病棟スタッフ

う毎朝の環境整備や頻繁な手指消毒を見て「すばらしい！ドイツも見習わないといけない」と感心されていました。心臓血管外科や脳外科の手術、ロボット手術なども見学することができ、当院の高度な治療から多くの学びを得たと話されていました。また廊下ですれ違う際に挨拶し合う私たちを見て「Good communication」と感激されていました。ドイツと日本の看護の違いだけでなく、共通する思いも知ることができ、この実習は当院の看護師にとっても視野を広げ、看護の質を高める貴重な機会になりました。今後も積極的に海外実習生を受け入れ、多様な価値観に対応できる柔軟な人材の育成に努めていきたいと考えています。

兵庫医科大学病院の本

「兵庫医科大学病院 医療最前線」を出版いたします。



価格：2,100円(税別)

大学病院に求められている「安全で質の高い医療」をわかりやすく説明し、患者さんご自身に自分の病気を少しでも理解して頂ける助けとなることを目的とした「兵庫医科大学病院 医療最前線」を出版いたします。

比較的多くの患者さんが患っておられる病気について、できるだけわかりやすく、検査方法、治療法、予後などを解説しています。

4月10日発売で、院内売店でも販売するほか、書店でもお買い求めいただけますので、ぜひご活用ください。

「くすりの話」

薬を包装シートのまま飲まないように注意しましょう

錠剤やカプセルは、瓶や袋に入ったものもありますが、病院でもらう薬、まちの薬局で買える薬はほとんどがPTP包装といって、表は透明で薬が見え、裏はアルミ箔になっている包装シートになっています。

最近、うっかり薬を包装シートのままのままでしまう例が増えており、誤ってそのまま包装シートごと錠剤をのみ込むと、食道に突き刺さるなど、思わぬ事故につながります。錠剤をのみむ時は、1回にのみ個数を確認、薬の包装の透明な凸部を指で押し、裏面のアルミ箔を突き破り、錠剤だけを取り出してから下さい。誤ってのまないためにも包装シートをハサミで小さく切り離したりしないように心がけ薬を包装シートと一緒にのまないように注意しましょう。もしも誤って飲んでしまった場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。



わらおう。

誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日を。

健康のこと、お薬のことお気軽にご相談ください

アイセイ薬局 武庫川店

兵庫県西宮市池開町3-20
Tel. 0798-44-3577
Fax. 0798-41-6400

月・水・金 8:30~19:00
開局時間 火・木 8:30~17:30
土(第2,4除く) 8:30~13:00
定休日 第2,4土・日・祝



AISEI
www.aisei.co.jp

兵庫医大病院等、どちらの医療機関の処方せんでも受付いたします



くるみ薬局では、「地域に密着した、信頼と親しみのおける、かかりつけ薬局」を目指しております。お気軽にご相談ください。

くるみ薬局では、すべての病院・医院の院外処方せんを受け付けております。

住所: 〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町1-17-30
電話番号: 0798-46-1155 FAX番号: 0798-46-1157
営業時間: 月~金曜日 9:00~18:00 / 土曜日 9:00~14:00
*処方せん受付は8:30から行っております。
定休日: 第2, 第4土曜日、日曜祝日

Kurumi pharmacy **くるみ薬局 武庫川店**
http://www.kurumi-ph.jp



阪神電鉄武庫川駅西口を出て右手すぐにありますので、お気軽にお立ち寄りください。

処方せん受付

兵庫医科大学病院、全国の医療機関の処方せんを受け付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。皆様のご利用をお待ちしております。



武庫川店

[営業時間] 月~金 8:30~17:30 第1・3・5土曜 8:30~13:30
[定休日] 第2・4土、日、祝日
TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



[営業時間] 月~金 8:30~17:30
[定休日] 土、日、祝日
TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 **阪神調剤薬局**
http://www.hanshin-dp.co.jp

処方せん受付

N I S H I P H A R M A C Y

Nishi Pharmacy **西薬局 武庫川店**

兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階 院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。お気軽にお申し付けくださいませ。 * 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局 武庫川店

TEL : 0798-43-3232
FAX : 0798-43-3233
月曜~金曜 9:00~18:00
第1・3・5土曜 9:00~14:00
休日 第2・4土曜
日曜・祝日
薬局前に P アリ



兵庫医大病院、全国の病院・医院処方せん、お受けします

Frontier **フロンティア薬局 武庫川駅前店**

月曜日~金曜日 9:00~18:00
第1・3・5土曜日 9:00~14:00
第2・4土曜日、日曜日、祝日はお休みです。

TEL:0798-42-6702

FAX:0798-42-6703 無料FAXカードをご用意してお待ちしております。
〒663-8131 西宮市武庫川町2-19P-1ビル1階



市民健康講座のお知らせ

参加費無料・申込不要 (定員60名)

兵庫医科大学病院は特定機能病院として、より高度な医療技術と医療情報を提供するとともに、地域の基幹病院として、患者さんやそのご家族、そして地域住民の皆さんとの間に医療を通じて深い信頼関係を築き、患者サービスの向上を図ることを目的として、本講座を定期的に開催しております。
(平成26年3月31日現在)

開催日	テーマ	講師	講演者
4月9日(水)	なおる高血圧を みのがさないために	講師 庄司 拓仁	糖尿病・内分泌・ 代謝内科
4月23日(水)	病院における有害事象	教授 森本 剛	総合内科
5月14日(水)	帯状疱疹後神経痛の治療	助教 神原 政仁	ペインクリニック部

開催場所 兵庫医科大学 10号館3階 第3会議室

開催時間 午後3時~4時30分 【午後2時30分開場】

お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 電話番号: 0798-45-6035(直通)

病院NEWSのバックナンバーは兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。

http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hospitalnews.html

または、学校法人兵庫医科大学 病院NEWS で検索してください。